

「ヤチカンバ見学会」を開催しました。

9月13日(土)参加者10名、講師は、北方研究所の深津恵太氏です。郷土資料館にて、ヤチカンバについてのお話を聞き、その後、現地に移動してヤチカンバの観察を行うとともに、ヤチカンバとシラカンバの種子の違いについて説明を受けました。終了後にアンケート調査を行い、今後予定されている保存活用計画についての意見を聞きました。



「奥行臼散策デー」を開催しました。

9月28日(日)NPO別海町文化財ネットワーク(主催)別海町教育委員会(共催)で開催されました。

旧標津線フットパスツアー、別海町歴史文化遺産「別海音頭」・「野付小唄」手踊り披露、手作りチーズ等の販売、トロッコ乗車体験などに多くの来場者がありました。



「別海音頭」・「野付小唄」手踊り披露



手作りチーズ等の販売



旧標津線フットパスツアー

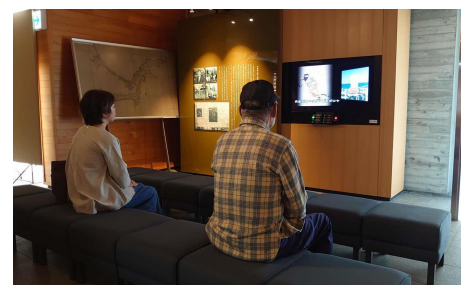


トロッコ乗車体験

「加賀家文書歴史講座」を開催しました。

9月28日(日)参加者2名で開催しました。

内容は「アイヌ語通辞(通訳) 加賀伝蔵について」で、お話やアニメーションの視聴、展示解説をとおして理解を深めていただくことが出来ました。



「終戦80年」の取組を終えて

今年は、終戦80年ということで、全国各地で様々な催し物が行われたかと思います。当館では、特別展「終戦80年～戦争とべつかい」（6月16日～9月29日）、「ふるさと講座歴史系第2回目別海町歴史文化遺産を巡る（戦争遺跡編）」（8月23日）、毎年開催されている「別海町戦没者追悼式」（8月15日）に特別展の一部資料を展示するなどの取組を行いました。

特別展の見学者からとったアンケートでは、「自分の親が存命中にもっと話を聞いておけば良かったと思いました」、「どの地域も戦争をのがれることができなかったことがわかった」、「東方面（北海道東部）の戦争の痕跡をみることができた」等の感想が寄せられました。新聞でも紹介されたことにより、親が持っていた戦争関連の資料の寄贈もありました。

また、「ふるさと講座」の参加者には、旧柏野尋常小学校奉安殿、旧陸軍計根別第一飛行場の思い出がある方が当時の体験談を語ってくれるなどの場面もありました。

10年ごとの節目で、戦争に対する取り組みを行ってききましたが、悲慘な戦争があったという事実は、この先も引き継いで行かなければならないと思います。今後は、常設展示の充実や見学会なども継続して行ないたいと考えております。



別海町戦没者追悼式での資料展示



上の写真は、「特別展」



ふるさと講座 旧柏野尋常小学校奉安殿



ふるさと講座 旧陸軍計根別第一飛行場

1号有蓋掩体

別海町郷土資料館だより No.315

発行日 令和7年10月1日
発行所 別海町郷土資料館
別海町別海宮舞町 30 番地
電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

編集後記

涼しくなり秋の季節となりました。天候も良く台風も少なくこれからなんでしょう？

郷土資料館に来られる方は、町外の方が多く時間をかけてゆっくりと見学されているようです。